

第2回「でっ描く！壁画プロジェクト2008 in 姫路」

～世界文化遺産の姫路城から2010年エジプト「ピラミッド展」に向けて～

ジャパンアートマイル代表 塩飽 隆子

第2回「でっ描く！壁画プロジェクト in 姫路」を昨年に引き続き姫路城三の丸広場で開催した。テーマは「いのちの地球」と「日本」。今年は日本で洞爺湖サミットが開催され、国内的にも世界的にも環境に関する人々の関心が高い。そこでJAMは今年のテーマの一つを、地球に存在する全てのいのちが繋がり、響き合い、調和するように願って「いのちの地球」とした。また、日本から世界に向かって日本の良さを発信しようと「日本」というテーマを設けた。2010年にエジプトのギザで開催される「ピラミッド展」に思いを馳せ、世界中で制作された壁画と一緒に自分達の作品もピラミッドを囲もうと、参加者はそれぞれの思いをキャンバスにぶつけた。

1 日程

[日時] 2008年8月2日
[場所] 姫路城三の丸広場
[参加者] 約300人



2 ねらい

参加者が二つのテーマ「いのちの地球」「日本」について考え、思いを込めて壁画を制作し、世界に向けてメッセージを発信する。

3 内容

小中学生を中心として、高校生、大学生、大人の26チーム約300人が姫路城三の丸広場に集まり、26枚の壁画を完成させた。



(完成作品一部)

4 成果

第2回目となる「でっ描く！壁画プロジェクト」はリピータも多く、参加者が壁画の意味を良く理解し、内容の濃い制作活動となった。グループのみんなで大きな絵を描くことで仲間、家族の絆を深めることができ、2010年にピラミッドを囲み世界の人に見てもらえるイベントに、参加した子どもも大人も夢と希望を感じた。